

**AMANO.**

電子タイムレコーダー

# EX 7000 series



取 扱 説 明 書

# 重要安全情報

本書に記載した注意事項は次のように危険の程度や内容に応じて使い分けております。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

 **警告**：誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 **注意**：誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ・傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
- ・物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

## ・絵表示の例



感電注意

記号は警告や注意を示します。  
具体的な警告や注意内容は  の中に絵で示します。



分解禁止

 記号は禁止の行為を示します。  
具体的な禁止内容は  の中に絵で示します。



プラグを抜く

記号は必ずやることで、強制する行為を示します。  
具体的な強制内容は  の中に絵で示します。

# はじめに

このたびは電子タイムレコーダーEX7000 シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。EX7000 シリーズを安全に正しくご使用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。また、お読みになった後はいつでも使えるように大切に保管してください。

## ご注意

- ・製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・この取扱説明書の内容は万全を期して作成しておりますが、誤りや記載事項の不明点がありましたら、ご購入の販売店までご連絡ください。

## お願い

お手数ですが、ご愛用者カードに所定事項を記入していただき、控えをご購入の販売店にお渡しください。アマノご愛用者リストに登録し、より安全なアフターサービスが行えるようにしたいと存じます。

## アフターサービス

電話やファクシミリによるお問い合わせはすべて無償ですが、出張して作業を行う場合は原則として当社規程の「作業料金」「交通費」などをご請求申し上げます。

## モデル一覧

モデル名は、本体裏(底面)のシール(プレート)に記載されています。

仕様	単色	2色印字	時報	メモディ	積算印字
モデル名					
EX7000					
EX7100					
EX7200					
EX7300					

# 目次

安全にお使いいただくために	1
概要	3
主な操作の流れ	3
設定の変更が必要な場合	5
積算印字をしたい場合 (EX7300)	6
ご使用になる前に	7
付属品	7
各部の名称とはたらき	8
上ぶたの開けかた	9
緩衝材の取り除きかた	9
使用するカードについて	10
操作のしかた	11
印字欄(出勤・退勤)の選びかた	11
タイムカードの入れかた	11
設置をします	12
設置のしかた	12
壁掛けのしかた	13
メロディの音量を調整します(EX7200/7300)	14
外部時報線を接続します(EX7200/7300)	15
バッテリーを接続します	17
電源について	18
初期セットをします	19
設定をします	20
設定をする前に	20
設定のしかた	21
年月日と時計を合わせます	22
年月日を合わせます	22
時分を合わせます	24

締日を変更します	26
日付切換時刻を変更します(午前 5 時を越える勤務がある場合)	28
週間プログラムを設定します	30
週間プログラムの設定項目	30
設定表を記入します	31
週間プログラムの設定のしかた	38
週間プログラムの確認のしかた	43
週間プログラムの削除のしかた	44
週間プログラムの変更のしかた	46
単位時間を設定します	47
その他の設定を変更します(初期値とは異なる印字をしたい場合)	48
積算印字をします(EX7300)	52
積算印字とは	52
積算印字の条件	54
積算印字の見かた	55
こんなときには	56
印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換)	57
日常のお手入れ	59
付録	60
オプションについて	60
製品仕様	60

## 本書の記号について

本文中に記載されている記号は、次のような意味があります。

**重要**

操作をするときに、注意していただきたいことが書いてあります。  
必ずお読みください。

**確認**

操作を始める前に、ぜひ確認していただきたいことが書いてあります。  
ここを読んでから、次の操作に進んでください。

**アドバイス**

操作するときに参考となることが書いてあります。

# 安全にお使いいただくために

EX7000 シリーズをご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みいただき、理解してください。

## ⚠警告



感電

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



定格電圧外禁止

- ・製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。  
火災、感電のおそれがあります。



タコ足配線禁止

- ・タコ足配線をしないこと。  
火災、感電のおそれがあります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりしないこと。  
火災・感電のおそれがあります。



分解禁止

- ・本書で外す手順を説明した部位以外は分解したり、触れないこと。  
内部は電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



分解禁止

- ・この機器を改造しないこと。  
火災、感電のおそれがあります。



プラグを抜く

- ・万一、煙が出ている・へんな臭いがする・発熱するなどの異常状態のときは、まず本体機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡すること。  
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



プラグを抜く

- ・万一、異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、まず本体機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡すること。  
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

## ⚠警告



プラグを抜く

- ・時報の接続は、時報ブザーなどの電源プラグをコンセントから抜いてから行うこと。  
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

## ⚠注意



使用禁止

- ・ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないこと。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

- ・この機器の上に水の入った容器や金属物を置かないこと。  
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



水気、ホコリ禁止

- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所やホコリの多い場所に置かないこと。  
火災、感電の原因となることがあります。



固定用具を使用

- ・壁掛けは本機の重量を十分に支えられるように壁材にあった固定用具を使用すること。  
落ちて、けがの原因となることがあります。



プラグを持つ

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・リボンカセットを交換するときは、上ぶたを開けた後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行うこと。  
そのまま交換するとけがや感電のおそれがあります。

# 概要

ここでは、ご使用になるまでの手順を説明しています。

## 主な操作の流れ

ご使用になる前に（7ページ参照）

ご使用になる前に確認しておいてください。

- ・製品構成
- ・各部の名称とはたらき
- ・上ぶたの開けかた
- ・緩衝材の取り除きかた
- ・使用するカードについて



設置をします（12ページ参照）

設置条件と電源について確認してください。また壁に掛けたり、メロディや時報を鳴らしたい場合に読んでください。

- ・設置のしかた 設置上の注意点を確認します。
- ・壁掛けのしかた 壁掛けをする場合は必ず読んでください。
- ・メロディの音量を調整します(EX7200/7300) メロディを鳴らす場合は必ず読んでください。
- ・外部時報線を接続します(EX7200/7300) 時報を鳴らす場合は必ず読んでください。
- ・バッテリーを接続します バッテリーの接続のしかたを確認してください。
- ・電源について 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ・初期セットをします 初めて使うときや長時間(3日以上)の停電があったときは、初期セットの操作を行ってください。



設定をします（20ページ参照）

設定されている初期値を確認します。時計は、現在時刻に合わせる必要があります。

「設定のしかた（21ページ）」や「年月日と時計を合わせます（22ページ）」を参照して、時計を合わせてください。

締日などを確認し、変更の必要がなければ、「操作のしかた」に進みます。



操作のしかた（11ページ参照）

印字欄を確認し、タイムカードを挿入します。

- ・ 印字欄(出勤・退勤)の選びかた
- ・ タイムカードの入れかた



## 設定の変更が必要な場合

年月日と時計を合わせます（22ページ参照）

- ・年月日を合わせます
- ・時分を合わせます

締日を変更します（26ページ参照）

日付切替時刻を変更します(午前5時を越える勤務がある場合)（28ページ参照）

週間プログラムを設定します（30ページ参照）

週間プログラムの設定・確認・変更が必要な場合に操作します。

- ・週間プログラムの設定項目
- ・設定表を記入します
- ・週間プログラムの設定のしかた
- ・週間プログラムの確認のしかた
- ・週間プログラムの削除のしかた
- ・週間プログラムの変更のしかた

その他の設定を変更します(初期値とは異なる印字をしたい場合)（48ページ参照）

## 積算印字をしたい場合 (EX7300)

積算印字を設定します ( 5 2 ページ参照 )

- ・ 積算印字とは
- ・ 積算印字の条件
- ・ 積算印字の見かた



週間プログラムで必要な項目を設定します ( 3 8 ページ参照 )

印字欄(2 欄および 5 欄)への移動時刻、始業時刻・終業時刻、休憩時間帯(非積算時間帯)を設定します。

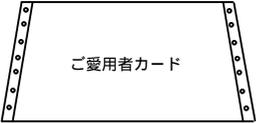
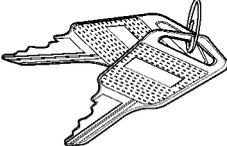
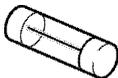
- ・ 週間プログラムの設定のしかた

# ご使用になる前に

ご使用前に、「付属品」、「各部の名称とはたらき」、「上ぶたの開けかた」、「使用するカードについて」を確認してください。

## 付属品

EX7000 シリーズの付属品は次の通りです。ご使用前にすべての付属品があることを確認してください。

<p>EX7000 シリーズ本体 1 台</p> 	<p>取扱説明書(本書)1 冊</p>  <p>取扱説明書</p> <p>EX7000 シリーズの取扱を説明する本です。</p>	<p>ご愛用者カード 1 枚</p>  <p>ご愛用者カード</p> <p>保証書をかねています。</p>
<p>カギ 1 組(2 個)</p>  <p>上ぶたを開けるときに使用します。</p>	<p>ヒューズ 1 個</p>  <p>ヒューズを交換するときの予備ヒューズです。本体内部の底面にテープ止めてあります。</p>	<p>テストカード 1 枚</p>  <p>テストカード</p> <p>締日や印字の確認をします。</p>

## 各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらきについて説明します。

### 欄移動ボタン

このボタンを押すと、印字欄ガイド表示の点灯が移動します。

### 印字欄ガイド表示

点灯しているところが現在の印字欄です。

### 時計表示

日・時・分・曜日を表示します。

### 前ケース

### カードポケット

ここからタイムカードを差し込みます。表面・裏面を誤って差し込んでも印字しない表裏判別機能が付いています。

### 上ぶた

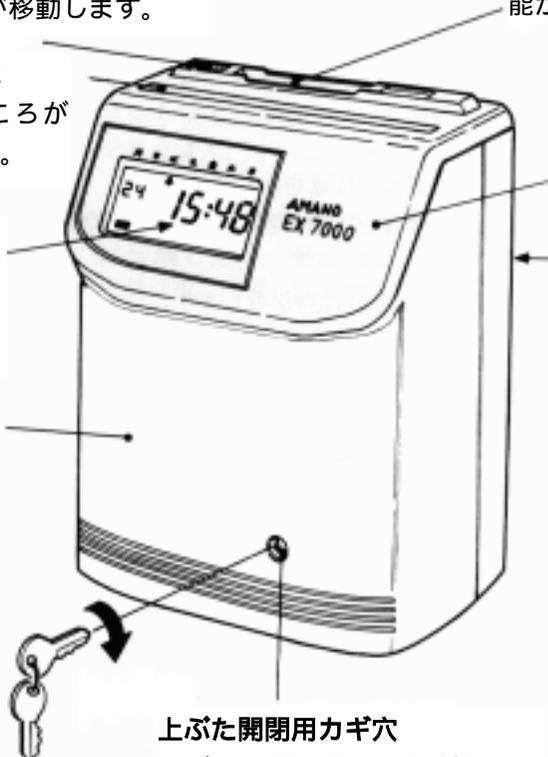
リボンカセットの交換、設定や時計合わせをするときに開けます。

### 背板(壁掛け板兼用)

壁掛けをする場合は、「壁掛けのしかた」を参照してください。

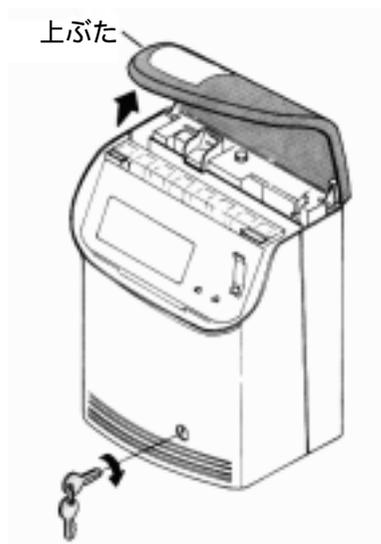
### 上ぶた開閉用カギ穴

上ぶたを開けるときに付属のカギで開けます。



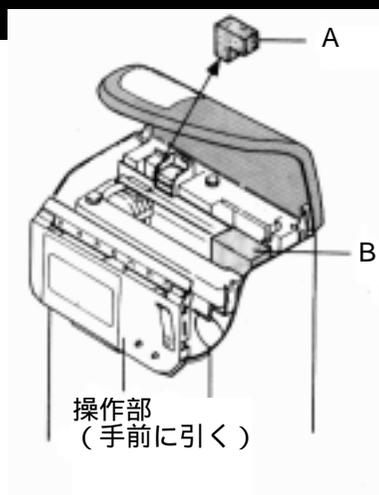
## 上ぶたの開けかた

付属のカギで上ぶたを開けます。



## 緩衝材の取り除きかた

A・B 2ヶ所の緩衝材を取りはずしてください。



## 使用するカードについて

アマノ標準タイムカードをご使用ください。

締日により A カード、B カード、C カード、D カードがあります。

誤ったカード(表裏反対)を挿入すると、「ピー！」とアラームが鳴り、印字できません。

A カード  
月末/15日締め(両面)

B カード  
20日/5日締め(両面)

C カード  
25日/10日締め(両面)

D カード日付印刷なし(両面)

**アドバイス** 例えば A カードでは、表面(青色の面)から使い始めると月末締めに、裏面(赤色の面)から使い始めると 15 日締めになります。

# 操作のしかた

印字欄(出勤・退勤)の選びかた、タイムカードの入れかたなど、必要な操作のしかたを説明しています。

## 印字欄(出勤・退勤)の選びかた

週間プログラムで欄移動の設定をすると、設定した時刻に印字欄が移動します。直行や直帰などで異なる印字欄に印字したいときは、印字欄を変更して打刻します。

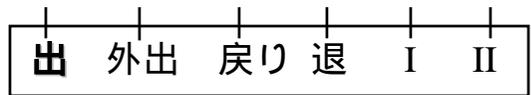
### 操作例

欄移動ボタンを押して、印字欄を移動します。



欄移動ボタン

第1欄 第2欄 第3欄 第4欄 第5欄 第6欄



印字欄ガイド表示

1回押すごとに右へ1欄ずつ移動し、右端までくると再び第1欄「出」へ戻ります。  
印字欄ガイド表示が赤く点灯している欄に印字します。

## タイムカードの入れかた

印字欄を確認してカードを挿入します。

### アドバイス

設定した締日に対して、当日のカード面が正しくないと印字されません。また同時にピーツとアラームが鳴ります。(表裏判定機能) 再度正しい面を挿入してください。

### 確認

上下を誤って挿入すると印字してしまいます。注意してください。



表裏を誤って挿入すると、

---:---

の表示となります。

# 設置をします

EX7000 シリーズを使用する前に必要な設置のしかたについて説明します。

**重要** 設置を行う前に、必ず緩衝材を取り除いてください。

## 設置のしかた

### △注意



使用禁止

・ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないこと。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

・この機器の上に水の入った容器や金属物を置かないこと。  
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

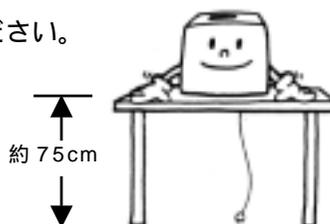


水気や火気禁止

・調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所やホコリの多い場所に置かないこと。  
火災、感電の原因となることがあります。

### 設置場所

- ・台の高さは 75cm くらいが適当です。
- ・タイムレコーダーは水平にして設置してください。
- ・アマン専用レコーダースタンドがございます。ご利用ください。



### 設置を避ける場所



直射日光や熱源に近い場所



雨水等の当たる場所



ホコリ、振動の多い場所



強い振動や衝撃のある場所

## 壁掛けのしかた

壁掛けをするときは、5mm の木ネジ 3 本をご用意ください。

### ⚠注意



固定用具を使用

- ・壁掛けは本機の重量を十分に支えられるように壁材にあった固定用具を使用すること。  
落ちて、けがの原因となることがあります。

1

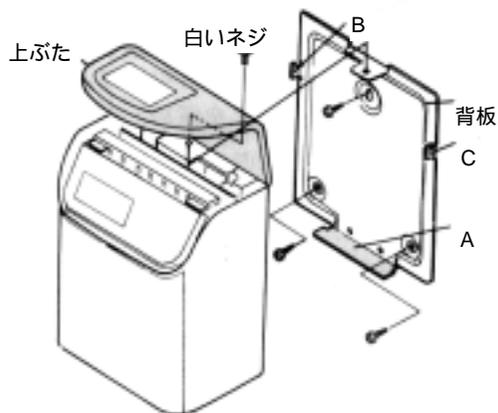
背板をはずします。

上ぶたを開けて白いネジをはずし、背板を下に押すと、本体からはずれます。

2

背板を壁に固定します。

ネジ(3本)で背板を壁に固定します。



3

背板を本体に固定します。

本体下部を A にのせ、B・C をケース両側の溝に差し込んだ後、白いネジで背板を本体に固定します。

## メロディの音量を調整します (EX7200/7300)

ご使用になる環境に合わせて、メロディを聞きやすい音量に調整します。

**確認** マイナスドライバーを用意してください。

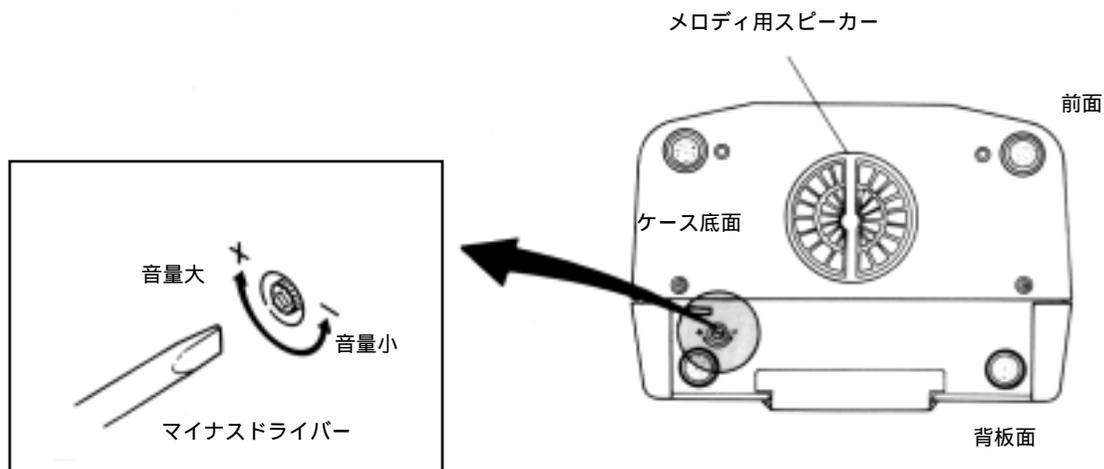
### 警告



分解禁止

- ・本書で外す手順を説明した部位以外は分解したり、触れないこと。  
内部は電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

本体ケース底部の音量調整ボリュームをマイナスドライバーで適当な音量になるように調整します。



## 外部時報線を接続します(EX7200/7300)

### ⚠警告



感電

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
火災・感電のおそれがあります。  
重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりしないこと。



プラグを抜く

- 時報の接続は、時報ブザーなどの電源プラグをコンセントから抜いてから行うこと。  
そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

### ⚠注意



プラグを持つ

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

外部時報線の接続のしかたを説明します。

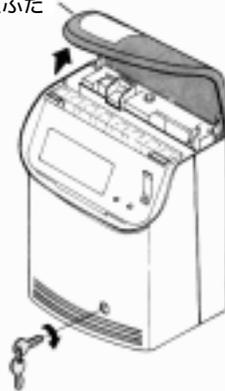
1

電源コードを抜きます。

2

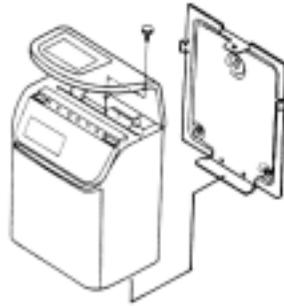
付属のカギで上ぶたを開けます。

上ぶた



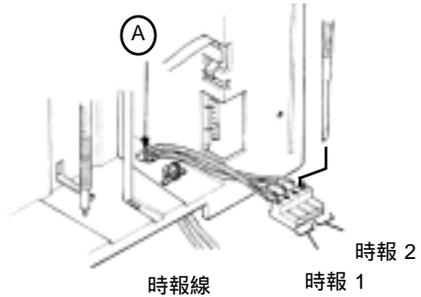
3

背板をはずします。  
白いネジをはずし、背板を下に押し、  
本体からはずれます。



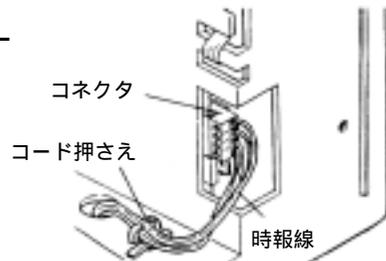
4

時報線を通します。  
時報線を本体後ろの穴 A から通し、マイ  
ナスドライバーを使って、コネクタにと  
めめます。

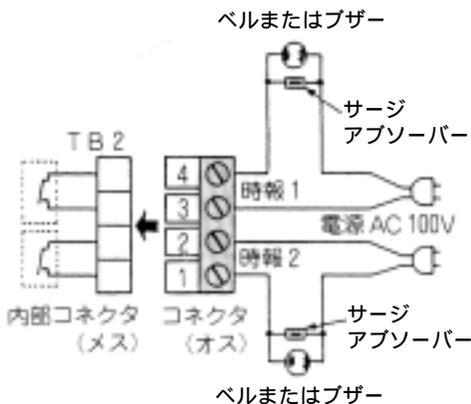


5

時報線を固定します。  
図の向きにコネクタを差し込み、時報線をコー  
ド押さえて固定します。



### 時報線の配線図



#### 外部時報接続仕様

- 接点出力：無電圧接点出力(メイク接点)
- 接点容量
  - AC 抵抗負荷 250V 1.0A 以下
  - AC 誘導負荷 250V 0.5A 以下
  - DC 負荷 24V 0.5A 以下
- 時報回路数 2 回路
- 時報装置側にサージアブソーバー  
(例えば S-1205 など)を取り付けてください。

## バッテリーを接続します

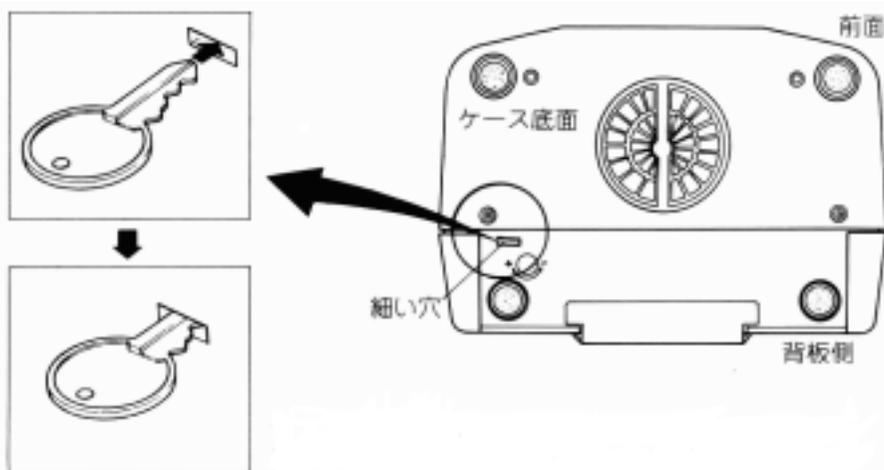
内部電池のスイッチを入れて、バッテリーを接続します。  
バッテリーを接続すると、停電時に時計を歩進し、データを保存します。

**重要**

バッテリーの接続は、必ず電源を入れる前に行ってください。

**1**

内部電池のスイッチを入れます。  
ケース底部にある細い穴に付属のカギを差し込みます。  
スイッチを押した手ごたえがあるまで押してください。

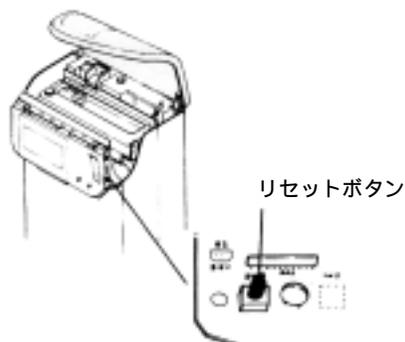


**2**

電源プラグをコンセントに差し込みます。  
設置が完了しましたら、電源プラグをコンセントに差し込みます。  
数秒間、内部モータの回る音がします。

**アドバイス**

バッテリーを接続したときに表示がおかしい(オール8を表示する)ときは、リセットボタンを押してください。



## 電源について

電源プラグをコンセントに差し込んでから、初期セットを行います。

### ⚠警告



感電

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



定格電圧外禁止

- 製品に表示した電源電圧以外の電圧で使用しないこと。  
火災、感電のおそれがあります。



タコ足配線禁止

- タコ足配線をしないこと。  
火災、感電のおそれがあります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
火災・感電のおそれがあります。  
重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりしないこと。

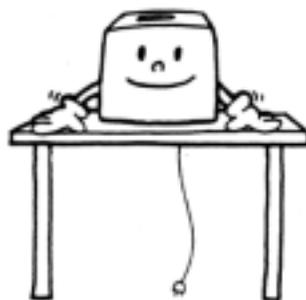
### ⚠注意



プラグを持つ

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源、電圧は安定したところでご使用ください。
- 電源は終夜電源にして、他の機種と独立させてください。



AC100V

## 初期セットをします

初めて使うときや長時間(3日以上)の停電があったときは、タイムレコーダーのバッテリーがなくなっています。次に示す『初期セット』を行い、1日以上通電させてください。

1

付属のカギで上ぶたを開けます。

上ぶた



2

欄移動ボタンを押したままで操作します。

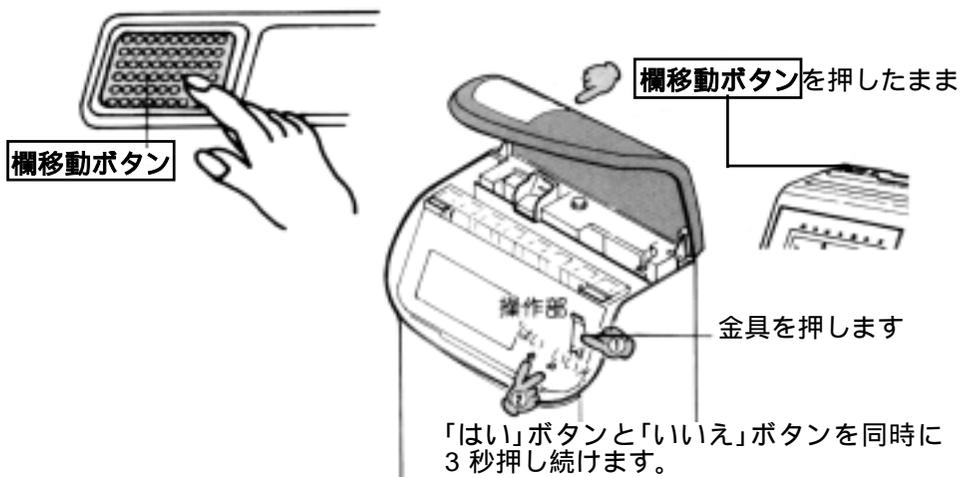
操作部の金具を1回押して、離します。(印字ヘッド部が動きます。)

「はい」ボタンと「いいえ」ボタンを同時に3秒押し続けます。

液晶表示が「01 0:00」になったら両手を離します。

以上で初期セットは終了です。

「年月日と時計を合わせます」を参照して、年月日と時分をセットしてください。



# 設定をします

本機は、「初期セット」を行いますと、下表のように初期値が自動セットされます。  
設定をする前に初期値を確認してから、時計や締日などを設定してください。

## 設定をする前に

### EX7000/7100/7200/7300 の初期値

設定項目		初期値	設定可能範囲
時計	年月日	1988年1月1日	
	時分	0:00	0:00~23:59
締日	締日	31日(月末締め)	01~31
	日付切替時刻	5:00	0:00~23:59
その他	単位時間	0分	0~60
その他の設定	1. 時計表示	24時間制	12時間制または24時間制
	2. 印字(時刻)	24時間制	12時間制または24時間制
	3. 印字(分位)	60進	60進/100進/10進
	4. 印字(日付/曜日)	0(日付)	0~3
	5. 二重印字防止機能	0(有効としない)	0または1
	6. 時報吹鳴時間数	5秒	0~59
	7. 空段の指定	01(表最上段空段)	01~32
	8. 印字段調整設定値	20	02~40
積算	1. 印字	60進	60進/100進/10進/分単位
	2. まるめ単位	0(まるめなし)	0~60

0=日付(0~31)  
1=曜日(月~日)  
2=英語曜日(MO~SU)  
3=デインナンバー(D1~D7)

0=有効としない  
1=有効とする

0=時報出力しません

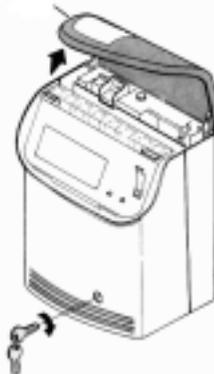
EX7300のみ設定します

### 上ぶたを開けて設定します

1

上ぶたを開けます。  
上ぶたを完全に開きますと、開いたままの状態になります。

上ぶた



2

時計や締日などの必要項目を設定します。  
上ぶたを閉めるとご使用できます。

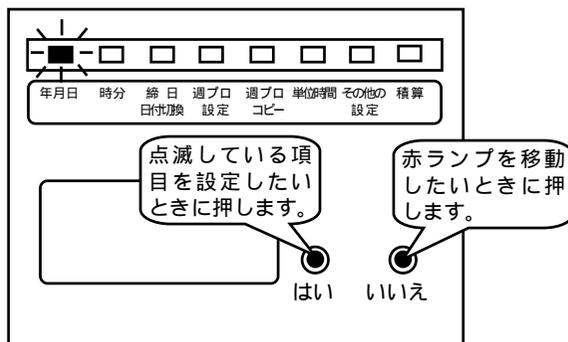
## 設定のしかた

上ぶたを開けると、自動的に設定モードになります。

赤ランプの点滅が設定する項目を表しています。



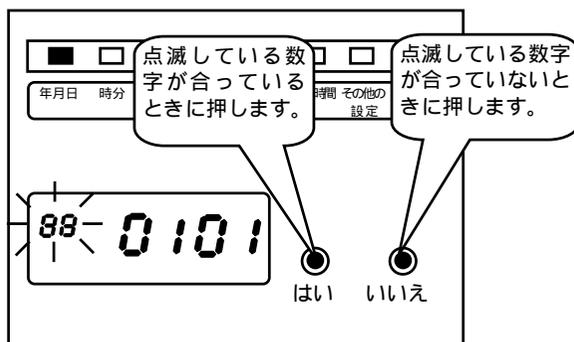
- ・点滅している項目を設定したいとき  
「はい」ボタンを押します。  
赤ランプが点灯に変わり、設定できます。
- ・他の項目を設定したいとき  
「いいえ」ボタンを押して赤ランプを移動し、  
設定したい項目のところで「はい」ボタンを  
押します。



設定したい項目を選ぶと、その項目の設定内容が現れます。

例：年月日

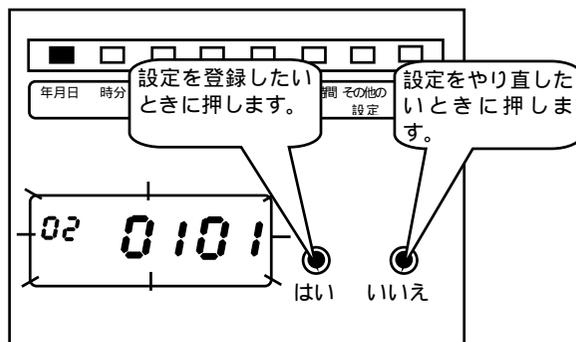
- ・点滅している数字が合っているとき  
「はい」ボタンを押します。
- ・点滅している数字が合っていないとき  
数字が合うまで「いいえ」ボタンを押します。  
数字が+1 しますから、設定したい数字と一  
致したら「はい」ボタンを押します。  
「いいえ」ボタンを押しつづけると、10 の位  
のみ、早送りします。



その項目の数字をすべて合わせると、設定した数字全体が点滅します。

例：年月日

- ・設定を登録したいとき  
「はい」ボタンを押します。その数字が登録さ  
れ、となりの項目に赤ランプが移動します。
- ・設定をやり直したいとき  
「いいえ」ボタンを押し、もう一度設定をやり  
直します。



**確認**

時刻はすべて 24 時間方式で入力します。

# 年月日と時計を合わせます

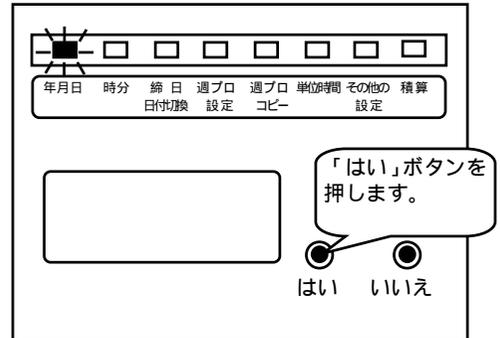
カギで上ぶたを開けてから、年月日と時計を合わせます。

## 年月日を合わせます

例：2002年3月3日

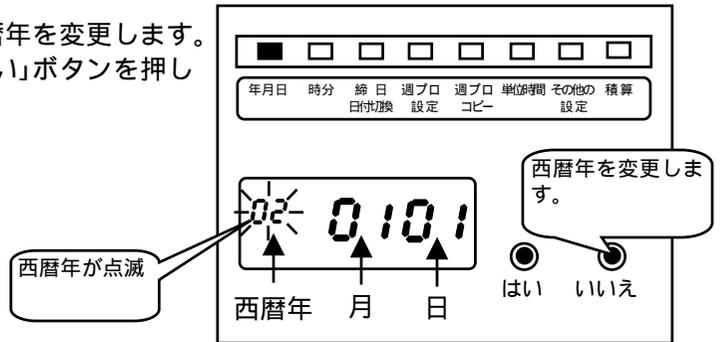
1

赤ランプが「年月日」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押して、設定を開始します。



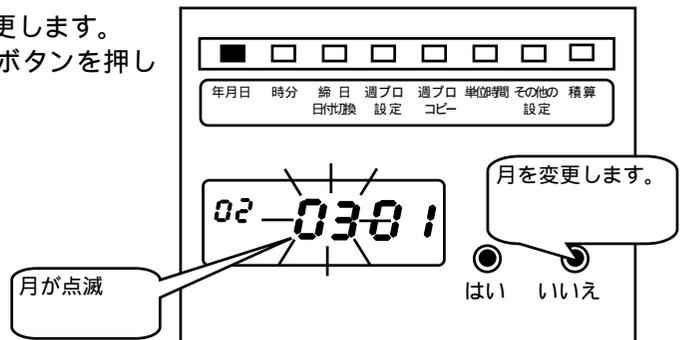
2

西暦年を変更します。  
「いいえ」ボタンを押して西暦年を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



3

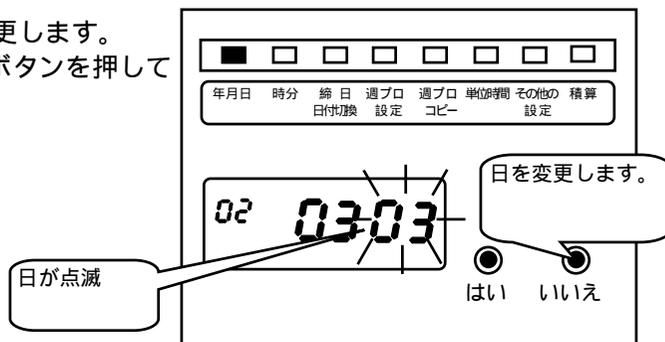
月を変更します。  
「いいえ」ボタンを押して月を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



4

日を変更します。

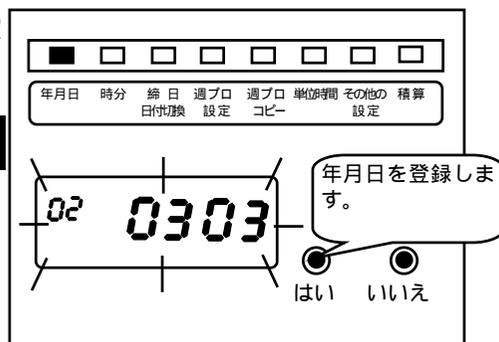
「いいえ」ボタンを押して日を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して  
確定します。



5

年月日を確認します。

最後に設定した数字全体が点滅しますから、確  
認して正しければ「はい」ボタンを押します。  
赤ランプが「時分」の項目に移ります。

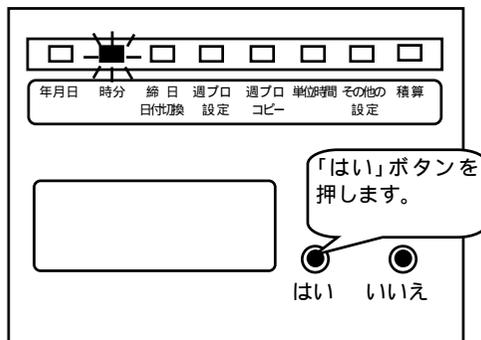


# 時分を合わせます

例：午後 2 時 30 分

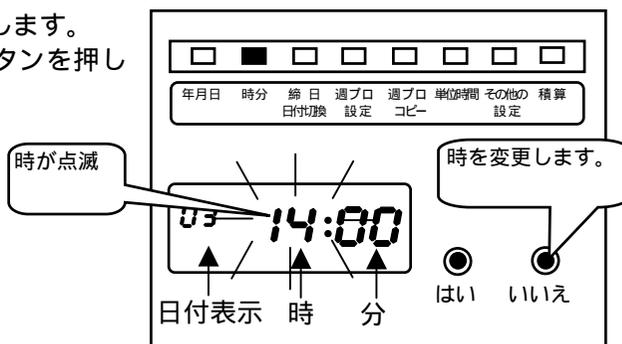
1

赤ランプが「時分」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押して、設定を開始します。



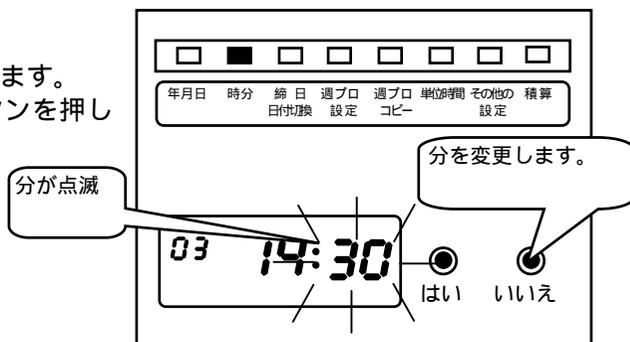
2

時を変更します。  
「いいえ」ボタンを押して時を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



3

分を変更します。  
「いいえ」ボタンを押して分を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



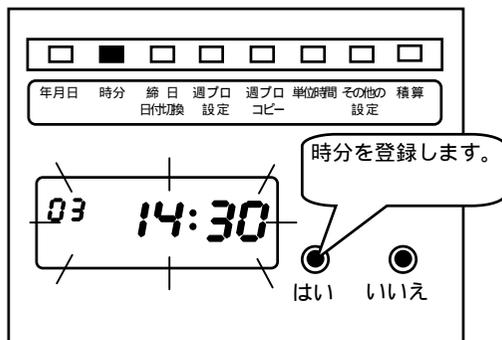
4

時分を確認します。

最後に設定した数字全体が点滅しますから、  
確認して正しければ「はい」ボタンを押します。

アドバイス

「はい」ボタンを押した瞬間、時計  
が00秒から始まります。



赤ランプが「締日・日付切換」の項目に移ります。

設定が終わり、他に設定する項目がない場合は、上ぶたを閉めます。

# 締日を変更します

カギで上ぶたを開けてから、締日を変更します。締日とは、1ヶ月単位の給与計算期間の最終日を言います。

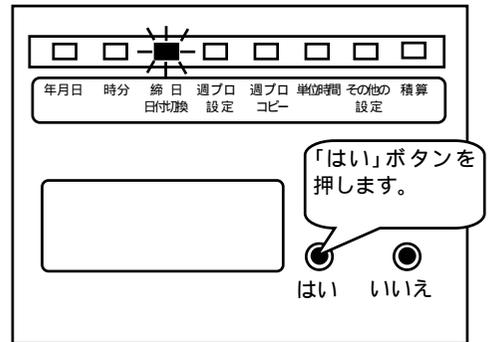
**重要**

- ・締日の設定の後に、必ず日付切替時刻も設定してください。  
午前5時を越える勤務がある場合は、日付切替時刻の設定が必要です。  
日付切替時刻の設定まで終了しないと、締日は変更できません。
- ・月末締めは、必ず「31」を設定してください。

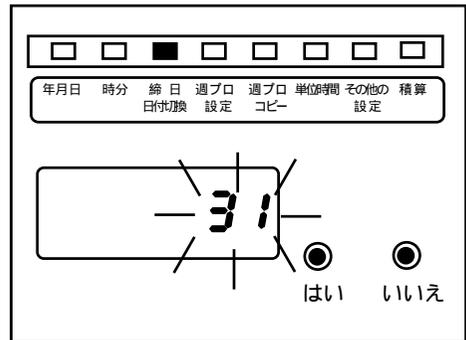
例：締日 20日(アマノ B カード使用)

1

赤ランプが「締日・日付切替」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押して、設定を開始します。



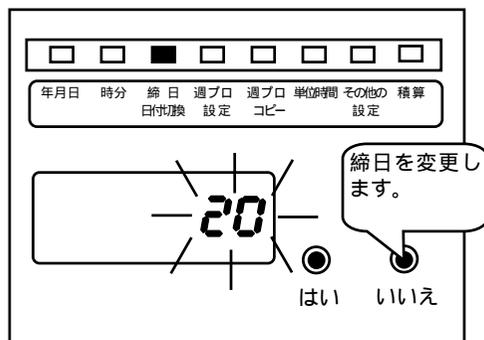
初めて設定するときは、初期値の「31」が点滅します。



## 2

締日を変更します。

「いいえ」ボタンを押して締日を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



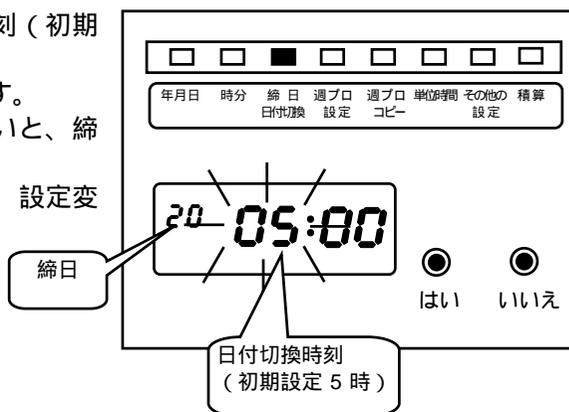
「はい」ボタンを押すと、日付切換時刻（初期設定 5 時）が点滅します。

引き続き日付切換時刻の設定をします。

（日付切換時刻の設定まで終了しないと、締め日は変更できません。）

午前 5 時を越える勤務がある場合は、設定変更を行います。

28 ページの手順 2 からの操作を行ってください。



締日を設定しますと、下表のように自動的に空段(タイムカードで空白にする段)が設定されます。変更する場合は、「その他の設定」を参照してください。

締日	空段位置
31 日	カード表面最上段
1 日 ~ 14 日	カード表面最上段
15 日 ~ 30 日	カード裏面最上段

**アドバイス** 締日が 15 日、10 日、5 日の場合

- ・ 締日が 15 日：アマノ A カードを使用し、カード裏面から使い始めます。設定は「31」
- ・ 締日が 10 日：アマノ C カードを使用し、カード裏面から使い始めます。設定は「25」
- ・ 締日が 5 日：アマノ B カードを使用し、カード裏面から使い始めます。設定は「20」

# 日付切換時刻を変更します

## (午前 5 時を越える勤務がある場合)

本機は、印字するタイムカードの段が午前 5 時に切り換わるように設定されています。5 時から翌日の 4 時 59 分までが同じ段に印字され、午前 5 時を越えると印字段が切り換わります。この時刻を越える勤務がある場合は、出勤と退勤が異なった段に印字されます。

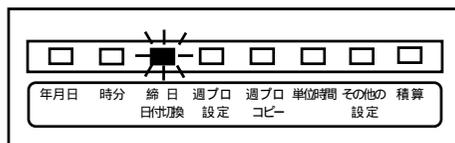
**アドバイス** 午前 5 時を越える勤務が主な場合、日付切換時刻を他の時刻(1 日の中で勤務されている方がいない時刻)に変更します。

日	出	退	時間	小
1	08:45			
2		08:45		
3				
4				

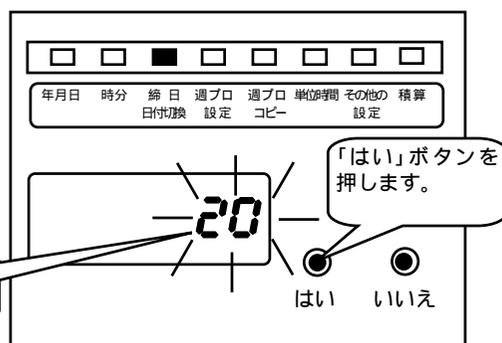
例：午後 2 時(夜勤が主な勤務の場合)

### 1 赤ランプの位置を確認します。

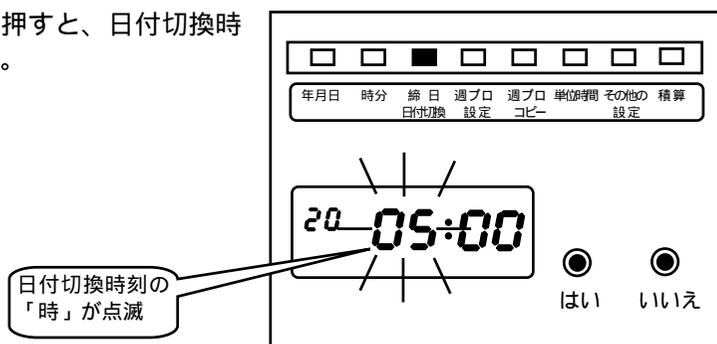
「締日・日付切換」の位置で点滅しているか確認します。



「はい」ボタンを押すと、締日が点滅します。締日については、「締日を変更します」を参照してください。



もう一度「はい」ボタンを押すと、日付切換時刻の「時」が点滅します。



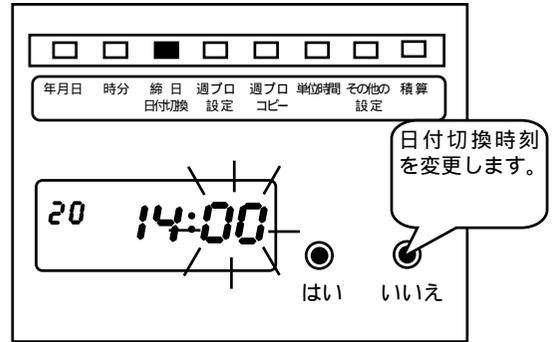
2

日付切換時刻を変更します。

「いいえ」ボタンを押して日付切換時刻の「時」を変更します。

変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。「はい」ボタンを押すと、日付切換時刻の「分」が点滅します。

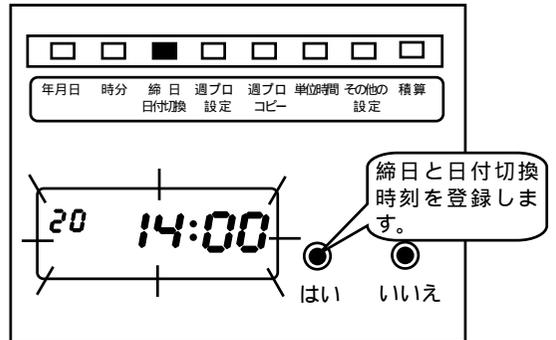
「分」の変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



3

日付切換時刻を確認します。

設定した数字全体が点滅しますから、確認して正しければ「はい」ボタンを押して確定します。赤ランプが「週プロ設定」の項目に移ります。



日付切換時刻を 14 時に設定すると、翌日の 13 時 59 分までは同じ印字段になります。

日付	出	出	出	出	出
1	823:45		813:45		
2					
3					
4					

設定が終わり、他に設定する項目がない場合は、上ぶたを閉めます。

# 週間プログラムを設定します

時報やメロディなどを鳴らしたり、印字を赤印字に切り換えたりする曜日や時刻を設定します。

## 週間プログラムの設定項目



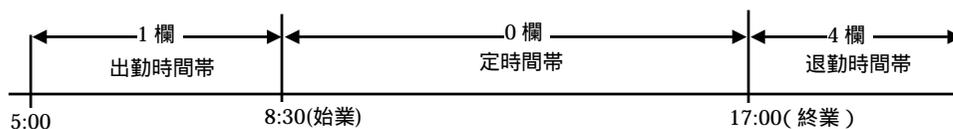
時報(EX7200/7300)	時報を出力したいときに設定します。 1=時報 1 を出力 2=時報 2 を出力 3=時報 1、2 を同時出力
メロディ (EX7200/7300)	メロディを鳴らしたいときに設定します。 1=グリーンスリーブス 2=アニーローリー 3=愛のロマンス 4=エリーゼのために
欄移動	印字欄を自動的に移動させたいときに設定します。積算印字 (EX7300) を行うときは、2 欄への移動時刻と 5 欄への移動時刻を必ず設定してください。 0=印字欄は移動しない 1~6=印字欄が 1~6 欄に移動
赤(黒)印字始 (EX7100/7200/7300)	赤(黒)印字に切り換えたい時刻に設定します。
始業/終業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始業と終業の設定をすることで、定時内の二重印字を防止します。定時内において、そのまま打刻すると「出」の欄に印字されてしまうため、外出や早退などの場合に「欄移動ボタン」を押さないと印字できないようにします。二重印字防止機能を有効にするためには、「欄移動」と「その他の設定」の「5 二重印字防止機能」を設定してください。</li> <li>・ 積算印字(EX7300)を行う場合は、必ず設定してください。</li> </ul>
休憩始/休憩終(EX7300)	積算時間内で、積算対象としない時間帯を休憩開始と休憩終了で時刻指定します。

## 設定表を記入します

週間プログラムを設定する前に就業条件を確認し、設定表を作ります。(設定表は 37 ページ)

### 週間プログラム設定例(EX7000) .....

次のようなタイムテーブルの場合



こんな設定をしたい場合	設定内容
出勤開始時刻(5:00)に カード(定時 出)欄に印字	5:00 欄移動を 1 に設定
始業時刻(8:30)に 定時内は欄移動しない	8:30 欄移動を 0(欄移動しない)
終業時刻(17:00)に カード(定時 退)欄に印字	17:00 欄移動を 4

曜日	欄移動	始業	終業
月	1		
火	1		
水	1		
木	1		
金	1		
土			
日			
時刻	欄移動	始業	終業
5 : 0 0	1		
8 : 3 0	0		
1 7 : 0 0	4		

# 週間プログラム設定例(EX7100) .....

次のようなタイムテーブルの場合

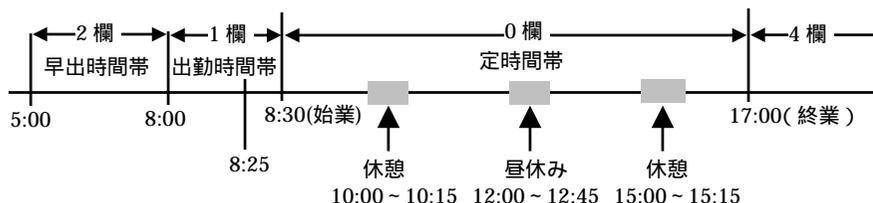


こんな設定をしたい場合	設定内容
出勤開始時刻(5:00)に カード(定時 出)欄に印字	5:00 欄移動を 1 に設定
始業時刻(8:30)に 定時内は欄移動しない、 定時内は赤印字にする	8:30 欄移動を 0(欄移動しない)、 赤印字
終業時刻(17:00)に カード(定時 退)欄に印字、 黒印字にする	17:00 欄移動を 4、 黒印字

曜日	①②③④⑤ 土日				
時刻	欄移動	赤印字 始	黒印字 始	始業	終業
5 : 0 0	1				
8 : 3 0	0				
1 7 : 0 0	4				

## 週間プログラム設定例(EX7200) .....

次のようなタイムテーブルの場合



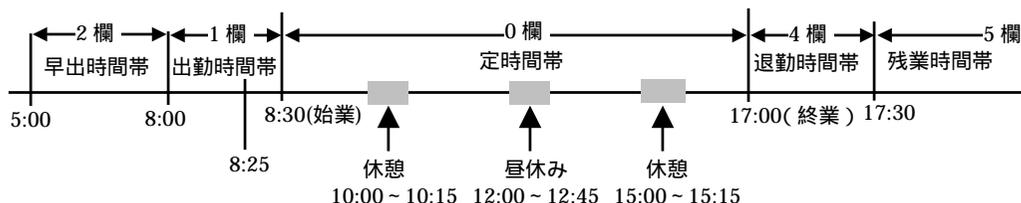
こんな設定をしたい場合	設定内容
早出時間数を印字する場合 (早出時間帯 5:00~8:00) カード(時間内 退)欄に印字	5:00 欄移動を 2 に設定
出勤開始時刻(8:00)に 時報を鳴らす、 カード(定時 出)欄に印字	8:00 時報 1 を鳴らす、 欄移動を 1 に設定
始業時刻 5 分前(8:25)に メロディ「アニーローリー」を鳴らす	8:25 メロディ 2 を設定
始業時刻(8:30)に 時報を鳴らす、 定時内は欄移動しない、 定時内は赤印字にする	8:30 時報 1 を鳴らす、 欄移動を 0(欄移動しない)、 赤印字
休憩開始時刻(10:00)に メロディ「グリーンスリーブス」を鳴らす	10:00 メロディ 1
休憩終了時刻(10:15)に 時報を鳴らす	10:15 時報 1
昼休み開始時刻(12:00)に 時報を鳴らす、 メロディ「グリーンスリーブス」を鳴らす	12:00 時報 1、 メロディ 1
昼休み終了時刻(12:45)に 時報を鳴らす	12:45 時報 1
休憩開始時刻(15:00)に メロディ「グリーンスリーブス」を鳴らす	15:00 メロディ 1
休憩終了時刻(15:15)に 時報を鳴らす	15:15 時報 1
終業時刻(17:00)に 時報を鳴らす、 メロディ「グリーンスリーブス」を鳴らす、 カード(定時 退)欄に印字、 黒印字にする	17:00 時報 1、 メロディ 1、 欄移動を 4、 黒印字

曜日	①②③④⑤ 土日											欄移動	赤印字 始	黒印字 始	始業	終業
時刻	時報			メロディ												
	1	2	3	1	2	3	4									
5:00								2								
8:00								1								
8:25																
8:30								0								
10:00																
10:15																
12:00																
12:45																
15:00																
15:15																
17:00								4								

メロディ：1=グリーンスリーブス 2=アニーローリー  
 3=愛のロマンス 4=エリーゼのために

# 週間プログラム設定例(EX7300) .....

次のようなタイムテーブルの場合



こんな設定をしたい場合	設定内容
早出時間数を印字する場合 (早出時間帯 5:00~8:00) カード(時間内 退)欄に印字	5:00 欄移動を 2 に設定
出勤開始時刻(8:00)に 時報を鳴らす、 カード(定時 出)欄に印字	8:00 時報 1 を鳴らす、 欄移動を 1 に設定
始業時刻 5 分前(8:25)に メロディ「アニーローリー」を鳴らす	8:25 メロディ 2 を設定
始業時刻(8:30)に 時報を鳴らす、 定時内は欄移動しない、 定時内は赤印字にする、 積算印字をする	8:30 時報 1 を鳴らす、 欄移動を 0(欄移動しない)、 赤印字、 始業時刻を設定
休憩開始時刻(10:00)に メロディ「グリーンスリープス」を鳴らす、 休憩時間帯は積算対象としない	10:00 メロディ 1、 休憩開始時刻を設定
休憩終了時刻(10:15)に 時報を鳴らす、 休憩時間帯は終了	10:15 時報 1、 休憩終了時刻を設定
昼休み開始時刻(12:00)に 時報を鳴らす、 メロディ「グリーンスリープス」を鳴らす、 休憩時間帯は積算対象としない	12:00 時報 1、 メロディ 1、 休憩開始時刻を設定
昼休み終了時刻(12:45)に 時報を鳴らす、 休憩時間帯は終了	12:45 時報 1、 休憩終了時刻を設定
休憩開始時刻(15:00)に メロディ「グリーンスリープス」を鳴らす、 休憩時間帯は積算対象としない	15:00 メロディ 1、 休憩開始時刻を設定
休憩終了時刻(15:15)に 時報を鳴らす、 休憩時間帯は終了	15:15 時報 1、 休憩終了時刻を設定

こんな設定をしたい場合	設定内容
終業時刻(17:00)に 時報を鳴らす、 メロディ「グリーンスリーブス」を鳴らす、 カード(定時 退)欄に印字、 黒印字にする 積算印字をする	17:00 時報 1、 メロディ 1、 欄移動を 4、 黒印字、 終業時刻を設定
残業時間数を印字する場合 (残業時間帯 17:30～5:00) カード(時間外)欄に印字	17:30 欄移動を 5 に設定

曜 日	①②③④⑤ 土 日													
時 刻	時 報			メロディ				欄移動	赤印字 始	黒印字 始	始 業	終 業	休憩始	休憩終
	1	2	3	1	2	3	4							
5 : 0 0								2						
8 : 0 0								1						
8 : 2 5														
8 : 3 0								0						
1 0 : 0 0														
1 0 : 1 5														
1 2 : 0 0														
1 2 : 4 5														
1 5 : 0 0														
1 5 : 1 5														
1 7 : 0 0								4						
1 7 : 3 0								5						

メロディ：1=グリーンスリーブス 2=アニーローリー  
 3=愛のロマンス 4=エリーゼのために



# 週間プログラムの設定のしかた

週間プログラムの設定のしかたについて説明します。

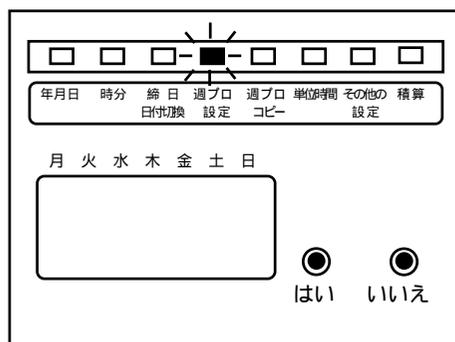
設定以外の操作をする場合は、次のページを参照してください。

- ・週間プログラムの設定を別の曜日にコピーしたい場合(41 ページ)
- ・週間プログラムの設定を途中でやり直したい場合(42 ページ)
- ・週間プログラムを確認したい場合(43 ページ)
- ・週間プログラムを削除したい場合(44 ページ)
- ・週間プログラムを変更したい場合(46 ページ)

例：EX7300 で月曜日の 8：30 に時報、メロディ 3、2 欄移動、赤印字開始、始業を設定する

1

赤ランプが「週プロ設定」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押して、設定を開始します。



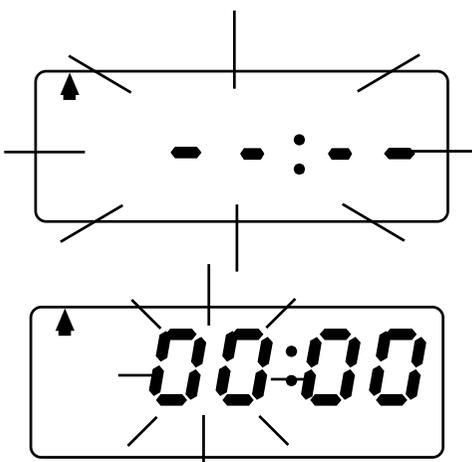
2

最初に曜日を指定します。  
月曜日の が点滅しているのを確認して、「はい」ボタンを押します。



3

設定を開始します。  
初めて設定する場合、手順 2 で「はい」ボタンを押すと、--:--の表示が現れますので、「いいえ」ボタンを押します。  
表示が 00:00 に変わります。



4

時刻を設定します。

「時」がはじめに点滅します。  
「08」になるまで、「いいえ」ボタンを押します。  
「08」の表示で「はい」ボタンを押します。

「分」が点滅します。  
「30」になるまで、「いいえ」ボタンを押します。  
「30」の表示で「はい」ボタンを押します。



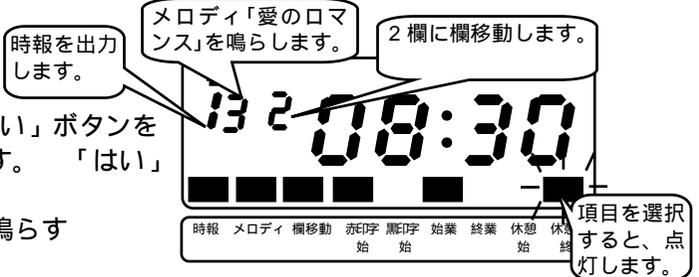
5

設定項目を選択します。

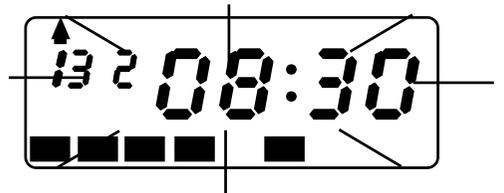
手順4で設定した時刻に対し、時報、メロディ、欄移動などがあれば、その項目をすべて選択します。

点滅している項目を選択するときは「はい」ボタンを押し、必要のないときは「いいえ」ボタンを押します。

- ・時報1を出力する  
「時報」が点滅します。「はい」ボタンを押します。「1」が点滅します。「はい」ボタンを押します。
- ・メロディ「3：愛のロマンス」を鳴らす  
「メロディ」が点滅します。  
「はい」ボタンを押します。「1」が点滅します。  
「3」になるまで「いいえ」ボタンを押します。  
「3」の表示で「はい」ボタンを押します。
- ・2欄に欄移動する  
「欄移動」が点滅します。「はい」ボタンを押します。「0」が点滅します。  
「2」になるまで「いいえ」ボタンを押します。「2」の表示で「はい」ボタンを押します。
- ・赤印字を開始する  
「赤印字始」が点滅 「はい」ボタンを押します。
- ・始業（時刻）とする  
「始業」が点滅 「はい」ボタンを押します。  
  
「休憩始」が点滅 「いいえ」ボタンを押します。「休憩終」が点滅 「いいえ」ボタンを押します。



手順4で指定した時刻に対する項目の選択が終了すると、表示全体が点滅します。  
正しければ、「はい」ボタンを押します。

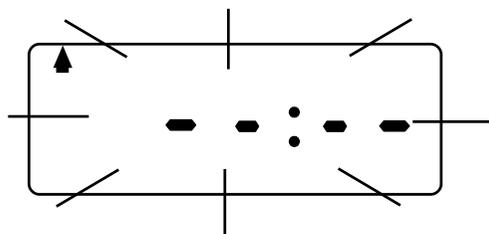


6

別の時刻の設定をします。

再び---の表示が現れます。

別の時刻を設定する場合は、「いいえ」ボタンを押して、時刻とその時刻に対する項目の指定を行います。(手順 3 から 5 を繰り返します。)



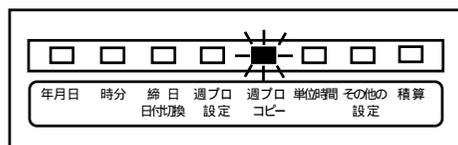
7

設定を登録します。

曜日に対する時刻毎の設定が終わりましたら、---の表示で「はい」ボタンを押します。

赤ランプの点滅が「週プロコピー」に移動します。

「週プロコピー」の操作については、「週プロコピーをします」を参照してください。



週プロコピーの必要がない場合は、「いいえ」ボタンを押します。

赤ランプが「週プロ設定」に移動し、これで設定完了です。



# 週プロコピーをします

ある曜日に設定した内容と別の曜日の設定が同じ場合は、週プロコピーの機能を使って設定内容をコピーします。

例：月曜日～金曜日を同じ設定にする

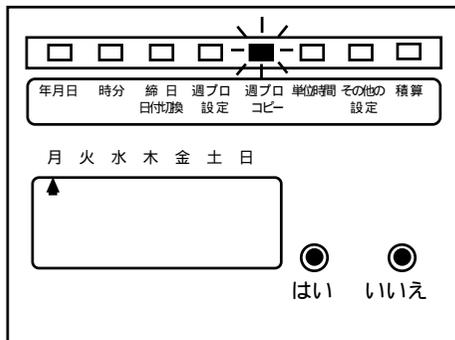
1

月曜日に週プロの設定をします。

(週プロの設定については、38～40 ページを参照してください。)

時刻毎の設定が終わりましたら、---の表示で「はい」ボタンを押します。

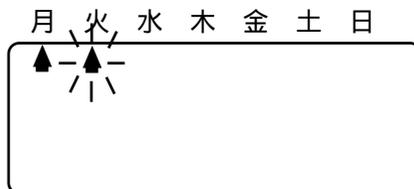
赤ランプの点滅が「週プロコピー」に移動します。



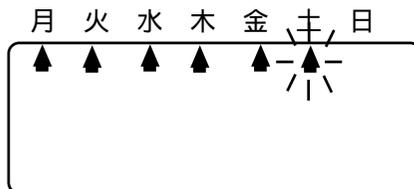
2

月曜日の設定を火曜日～金曜日にコピーします。

「はい」ボタンを押すと、火曜日の が点滅します。



火～金曜日の の点滅で「はい」ボタンを押し、土・日曜日の点滅では、「いいえ」ボタンを押します。

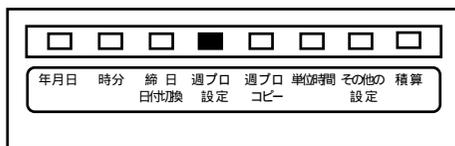


3

コピーを終了します。

赤ランプが「週プロ設定」に移動します。コピーが終了しました。

そのまま上ぶたを閉めるか、または火曜日の設定を確認してから、上ぶたを閉めます。



## 週間プログラムの設定を途中でやり直したい場合.....

金具を押すと、赤ランプが「年月日」に戻ります。

「いいえ」ボタンを押して「週プロ設定」のところに赤ランプを移動させ、設定の最初からやり直してください。

金具を押してください。



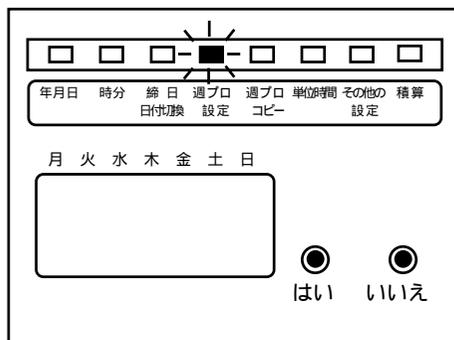
# 週間プログラムの確認のしかた

設定した週間プログラムの確認のしかたを説明します。

例：EX7300 で月曜日 8：30 のプログラムを確認する

1

赤ランプが「週プロ設定」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押します。



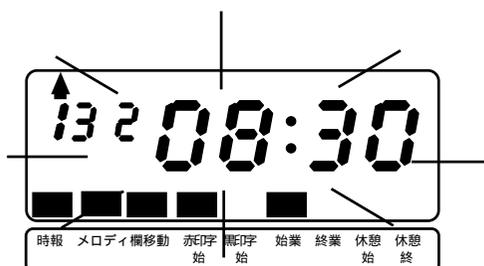
2

確認したい曜日を指定します。  
月曜日の が点滅しているのを確認して、「はい」ボタンを押します。



3

設定項目を確認します。  
「はい」ボタンを押すたびにプログラムの内容が一つずつ表示されます。  
これを確認します。  
表示例は、8:30 に時報を鳴らす、メロディ3「愛のロマンス」を鳴らす、2 欄に欄移動する、始業時刻(積算印字)の設定です。



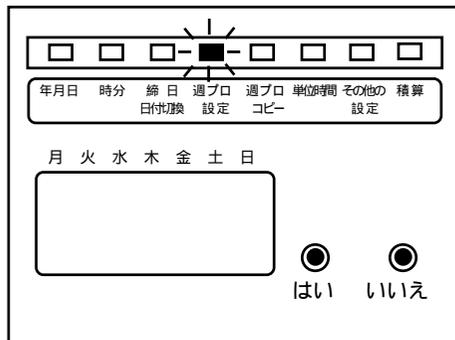
## 週間プログラムの削除のしかた

設定した週間プログラムを削除するには、その時刻の設定項目を一つずつ消します。

例：EX7300 で 8：30 のプログラムを削除する

1

赤ランプが「週プロ設定」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押します。



2

削除したいプログラムの曜日を指定します。  
指定曜日の が点滅しているのを確認して、  
「はい」ボタンを押します。  
引き続き 45 ページの操作を行います。



3

設定項目を削除します。  
削除したいプログラムが表示されました、  
「いいえ」ボタンを押します。



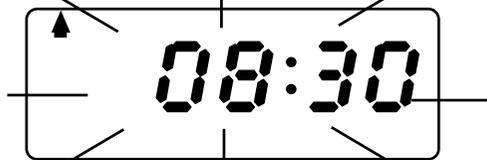
時分に対しては「はい」ボタンを押します。



設定項目に対してはすべて「いいえ」ボタンを  
押します。



設定項目が何もないことを確認し、「はい」ボ  
タンを押します。  
引き続き、設定の登録操作を行ってください。



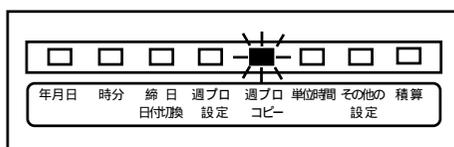
重要

プログラムを削除した場合は、設定を  
登録してから、削除した内容を別の曜  
日にコピーします。設定を登録しない  
とプログラムは削除されません。また、週プロコピーをしないと、削除した内容  
が別の曜日に反映されません。

4

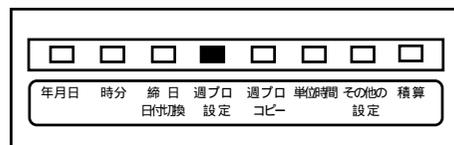
設定を登録します。

--:--の表示が出てくるまで「はい」ボタンを押  
します。--:--の表示で「はい」ボタンを押します。  
赤ランプの点滅が「週プロコピー」に移動しま  
す。



削除した内容を別の曜日にコピーします。41  
ページ「週プロコピーをします」を参照してく  
ださい。

週プロコピーが終了し、赤ランプが「週プロ設  
定」に移動しましたら、設定完了です。

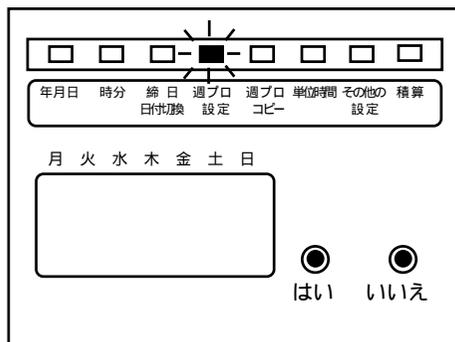


## 週間プログラムの変更のしかた

ある時刻のプログラムを別の時刻に変更したい場合は、すでに設定してある時刻のプログラムを削除してから、新規に別の時刻のプログラムを登録します。

1

赤ランプが「週プロ設定」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押します。



2

すでに設定してある時刻のプログラムを削除します。  
44 ページ「週間プログラムの削除のしかた」を  
参照してください。



3

新規に別の時刻のプログラムを登録します。  
38 ページ「週間プログラムの設定のしかた」を参照してください。

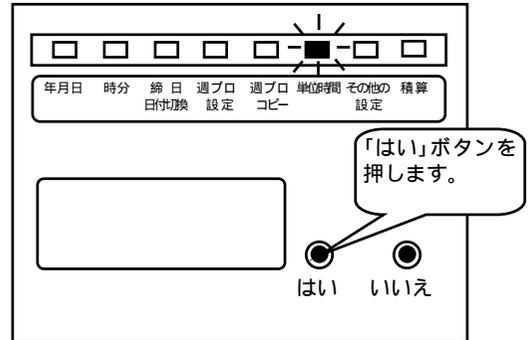
# 単位時間を設定します

時刻を単位時間で切り上げ/切り捨て印字したい場合に設定します。

例：単位時間を 15 分に設定

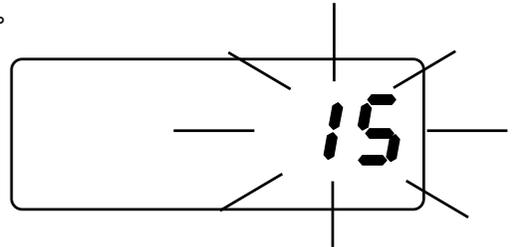
1

赤ランプが「単位時間」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押します。



2

単位時間を設定します。  
「いいえ」ボタンを押して単位時間を変更します。



設定した単位時間でまるめられて印字します。

8:42 出勤 8:45(出勤の場合は、15分単位で切り上げられます。)  
17:42 退勤 17:30(退勤の場合は、15分単位で切り捨てられます。)  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して登録します。



赤ランプは「その他の設定」に移ります。

# その他の設定を変更します (初期値とは異なる印字をしたい場合)

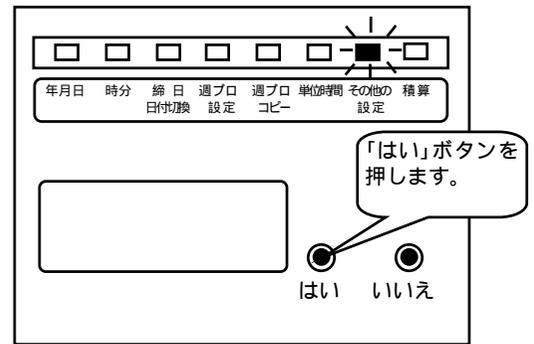
カギで上ぶたを開けてから、設定をします。機種によって、設定項目が異なります。

**重要**

「その他の設定」は、設定 1～8 まで完了しないと内部へ登録されません。  
変更する必要がない項目については、「はい」ボタンを押して設定 8 まで登録してください。

設定項目	設定範囲
1 時計表示(12 時間/24 時間)の変更	12(AM/PM 表示)または 24
2 印字(12 時間/24 時間)の変更	12(午後はアンダーライン付き)または 24
3 印字(60 進/100 進/10 進)の変更	60(進法)、100(進法)、10(進法)
4 日付印字の変更	0 : 日付印字(01 ~ 31) 1 : 日本語曜日印字(月 ~ 日) 2 : 英語曜日印字(MO ~ SU) 3 : デイナンバー(D1 ~ D7)
5 二重印字防止機能の設定	外出や早退などの場合に「欄移動ボタン」を押さないと印字できないようにする機能です。 0 : 無効にする 1 : 有効にする
6 時報吹鳴時間数の変更 ( EX7200/7300 )	0 ~ 59 秒
7 空段の変更	01 ~ 32
8 印字段の調整	02 ~ 40

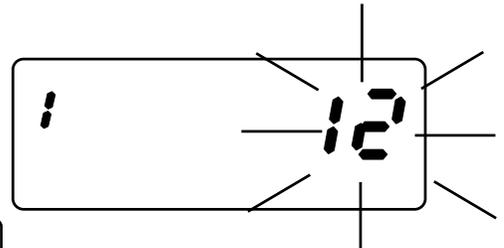
赤ランプが「その他の設定」の位置で点滅しているか確認し、「はい」ボタンを押します。



1

時計表示(12 時間/24 時間)を変更します。

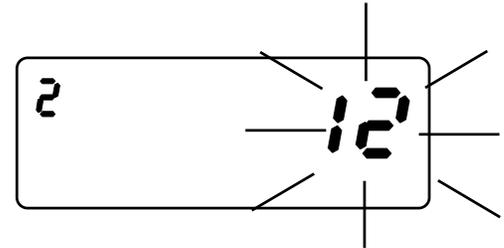
例：時計を 12 時間(AM/PM)表示にする  
「いいえ」ボタンを押して時計表示を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



2

印字(12 時間/24 時間)を変更します。

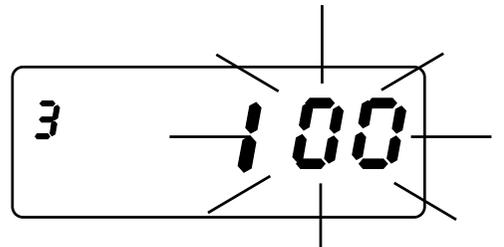
例：印字を 12 時間制(午後はアンダーライン付き)にする  
「いいえ」ボタンを押して印字を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



3

印字(60 進/100 進/10 進)を変更します。

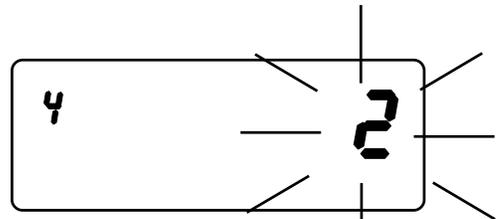
例：印字を 100 進表現にする  
「いいえ」ボタンを押して印字を変更します。  
変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



4

日付印字を変更します。

例：日付印字を英語曜日印字にする  
 「いいえ」ボタンを押して日付印字を変更します。  
 変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。

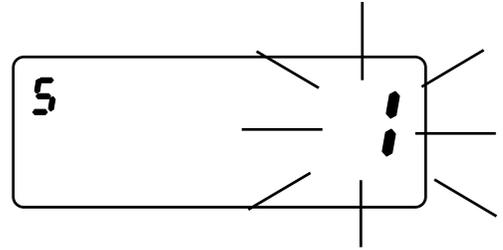


0：日付印字(01～31)  
 1：日本語曜日印字(月～日)  
 2：英語曜日印字(MO～SU)  
 3：デインバー(D1～D7)

5

二重印字防止機能を変更します。

例：二重印字防止機能を有効にする  
 「いいえ」ボタンを押して二重印字防止機能を変更します。  
 0：無効、1：有効  
 変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



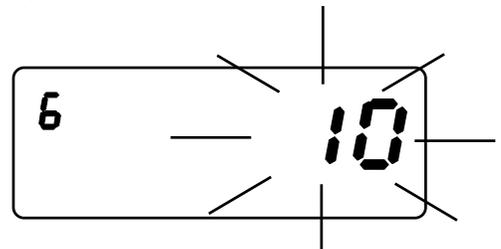
#### 二重印字防止機能とは

定時内において、そのまま打刻すると「出」の欄に印字されてしまうため、外出や早退等の場合に「欄移動ボタン」を押さないと印字できないようにする機能です。  
 積算印字を行う場合は、この二重印字防止機能は必ず0：無効とするに設定してください。(EX7300)

6

時報吹鳴時間数を変更します。(EX7200/7300)

例：時報吹鳴時間数を10秒にする  
 「いいえ」ボタンを押して時報吹鳴時間数を変更します。  
 変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



- ・吹鳴時間数を「0」にしますと、時報装置への信号出力はしません。
- ・この時間数は時報1、時報2共通です。

# 7

## 空段を変更します。

空段を変更する場合は、「締日」を先に設定してください。

空段を変更してから「締日」を設定すると、空段が締日に応じた初期値の空段 に自動的に戻ってしまうためです。

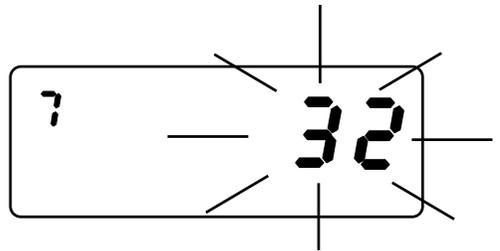
締日を設定しますと、下表のように自動的に空段が設定されます。

締日	空段位置( )	カード表面	カード裏面
31日	カード表面最上段(01)	(最上段)	(最上段)
1日～14日	カード表面最上段(01)	1段	17段
15日～30日	カード裏面最上段(17)	2段	18段
		⋮	⋮
		16段	32段
		(最下段)	(最下段)

例：空段を32段にする

「いいえ」ボタンを押して空段を変更します。

変更が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



# 8

## 印字段を調整します。

印字してみて段が上下にずれる場合は、0.5mm単位で微調整ができます。

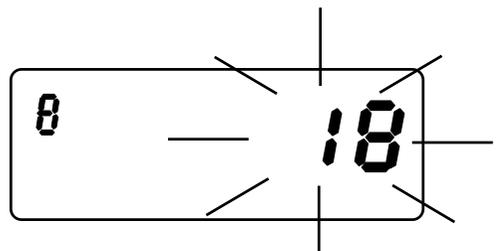
初期設定値「20」が点滅します。

設定値が+1すると印字は0.5mm上がります。-1すると印字は0.5mm下がります。

例：印字位置を1mm下げたいので、設定を「18」に変更する

「いいえ」ボタンを押して印字段を調整します。

調整が終わりましたら、「はい」ボタンを押して確定します。



# 積算印字をします (EX7300)

## 積算印字とは

早出や残業をした場合に、始業時刻や終業時刻を基準としてどのくらいの時間数の早出や残業をしたかを確認することができます。

### 確認

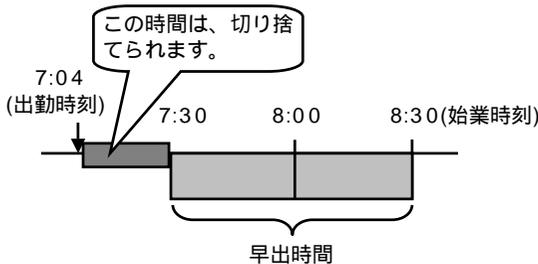
- ・積算印字を行うためには、週間プログラムで印字欄(2欄および5欄)への移動時刻、始業時刻・終業時刻、休憩時間帯(非積算時間帯)を設定してください。
- ・「その他の設定」で「二重印字防止機能」が「有効」となっていると、定時の積算印字ができません。積算印字を行う場合は、「二重印字防止機能」を「無効」にしてください。

ここでは、積算印字の分印字単位とまるめ単位を設定します。

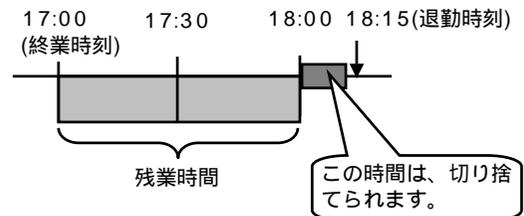
### アドバイス

- ・分印字単位は 60 進/100 進/10 進/1 分単位から選択指定します。積算時間は、設定したまるめ単位で印字されます。
- ・早出および残業積算は、端数時間が切り捨てられます。  
例えば、始業時刻 8:30 で 7:04 に出勤した場合(まるめ単位 30 分)、早出時間は 1:00 になります。

### 早出積算

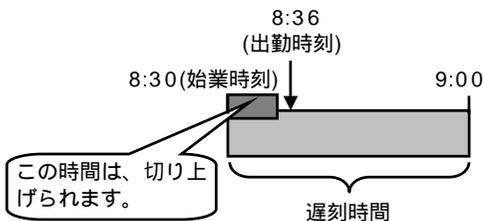


### 残業積算

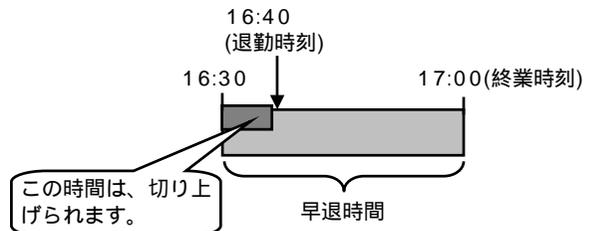


- ・遅刻および早退積算は、端数時間が切り上げられます。  
例えば、始業時刻 8:30 で 8:36 に出社した場合(まるめ単位は 30 分)、遅刻時間は、0:30 になります。

### 遅刻積算



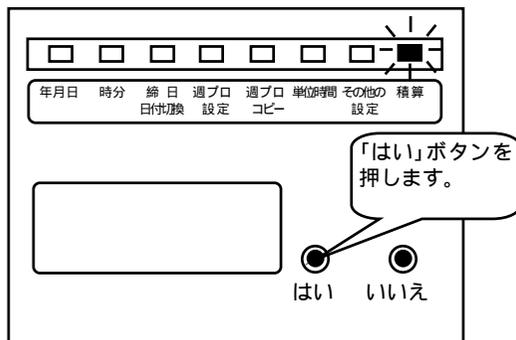
### 早退積算



例：分印字単位を 100 進法に、まるめ単位を 30 分単位に変更します。

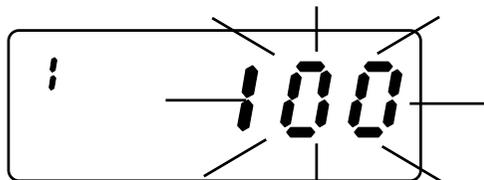
1

赤ランプが「積算」の位置で点滅しているか確認します。  
「はい」ボタンを押します。



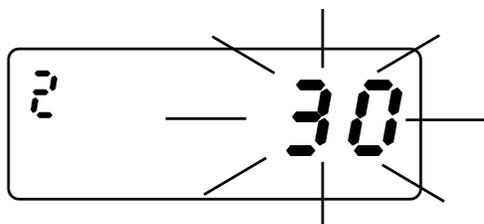
2

積算印字の分印字単位を変更します。  
「いいえ」ボタンを押すごとに「60(60 進)」「100(100 進)」「10(10 進)」「01(分印字)」「60(60 進)...と順に表示します。  
分印字単位を選択して、「はい」ボタンを押します。



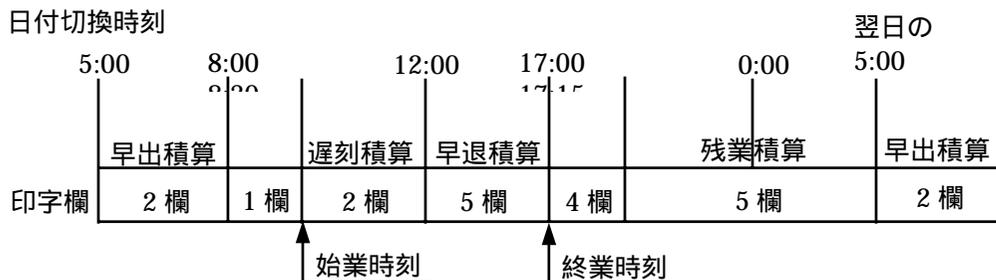
3

積算印字のまるめ単位を設定します。  
「いいえ」ボタンを押すごとに「00」「15」...「30」「60」「00」と順に表示します。まるめ単位を選択して、「はい」ボタンを押します。  
赤ランプは「年月日」に移ります。



## 積算印字の条件

下記勤務スケジュールの場合は、週間プログラムを次のように設定します。



**早出積算印字**を行う場合、日付切換時刻から始業時刻間で、早出積算印字を開始する時刻を設定し、**欄移動を「2」に設定**してください。

(上記例では、5:00~7:59が早出積算印字の対象時間となります。)

**遅刻積算印字**を行う場合、始業時刻から終業時刻間で、遅刻積算印字を開始する時刻を設定し、**欄移動を「2」に設定**してください。

(上記例では、8:30~11:59が遅刻積算印字の対象時間となります。)

**早退積算印字**を行う場合、始業時刻から終業時刻間で、早退積算印字を開始する時刻を設定し、**欄移動を「5」に設定**してください。

(上記例では、12:00~16:59が早退積算印字の対象時間となります。)

**残業積算印字**を行う場合、終業時刻から日付切換時刻間で、残業積算印字を開始する時刻を設定し、**欄移動を「5」に設定**してください。

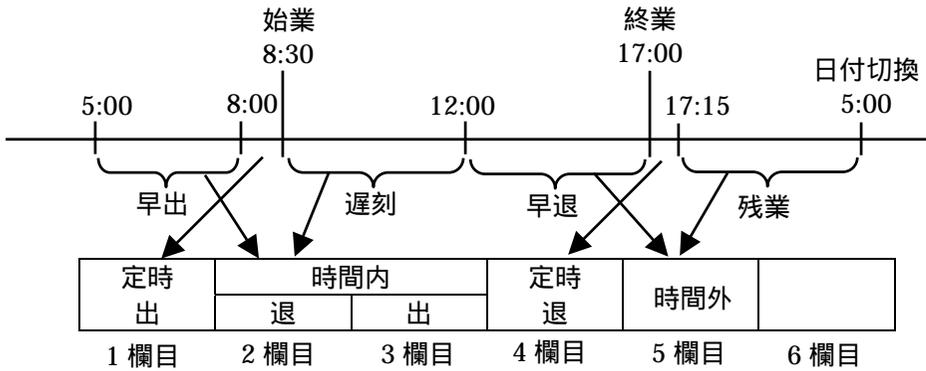
(上記例では、17:15~翌日の4:59が残業積算印字の対象時間となります。)

### 確認

- ・手動で印字欄を選択した場合は、積算印字されません。
- ・積算時間内に休憩開始時刻と休憩終了時刻が設定されている場合、その休憩時間帯は積算対象となりません。

# 積算印字の見かた

次のようなタイムテーブルの場合、2 欄目・5 欄目に印字される内容が積算印字の対象になります。



## 印字サンプル

NO.		氏名				
所						
属						
<b>タイムカード</b> TIME CARD						
年 月 日						
	1 欄	2 欄	3 欄	4 欄	5 欄	6 欄
日付	定時出	時間内退	時間内出	定時退	時間外	小計
通常出勤	8:22			17:04		
早出(60進、1分単位)		7:04	1:26	17:08		
遅刻(60進、1分単位)		8:21			19:33	2:33
		8:52	3:22	17:05		
		8:24			15:24	2:36

積算内容	印字
早出	ハヤ
遅刻	チコ
早退	ソタ
残業	ザン

通常出勤  
早出(60進、1分単位)  
遅刻(60進、1分単位)  
通常退勤  
残業(60進、1分単位)  
早退(60進、1分単位)

# こんなときには

EX7000 シリーズを使用中、思うように操作できなかつたり、何をしたらよいのかわからないときの対処方法を説明します。

## ⚠警告



感電

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
火災・感電のおそれがあります。  
重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりしないこと。

## ⚠注意



プラグを持つ

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

現象	原因と処理	
“ピーツ”と音がして 印字しない	カード面を逆に挿入した	カードの表裏を反対にして挿入する
時計が進まない	時計部の動作不良	リセットボタンを押す
曜日・日付が違う	日付合わせの間違い	「年月日を合わせます」を参照
印字が薄い (印字が欠ける)	・リボンカセットの寿命	「印字が薄くなってきたら」を参照
	・リボンカセットの装着ミス	正しくセットし直す
印字段が違う	締日などの設定間違い	締日、空段、印字段切替時刻、日付、カードタイプの設定を確認する
印字欄が違う	印字欄の選択ミス	正しい印字欄を選択する
印字が流れる	利用方法の誤り	印字中にカードを引き抜かないようにする
印字フォーマットが 変わってしまった	印字フォーマットの設定ミス	「その他の設定を変更します」を参照
表示がおかしい	表示部の動作不良	リセットボタンを押す

# 印字が薄くなってきたら (リボンカセットの交換)

印字が薄くなりましたら、リボンカセットを交換します。

## ⚠警告



感電

- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。  
感電のおそれがあります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しないこと。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりしないこと。  
火災・感電のおそれがあります。



分解禁止

- ・本書で外す手順を説明した部位以外は分解したり、触れないこと。  
内部は電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

## ⚠注意



プラグを持つ

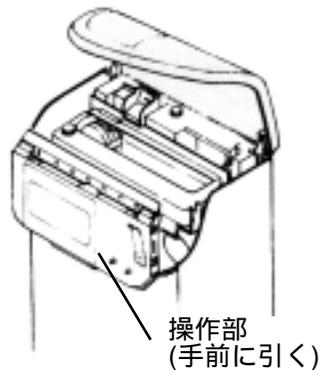
- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜くこと。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・リボンカセットを交換するときは、上ぶたを開けた後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行うこと。  
そのまま交換するとけがや感電のおそれがあります。

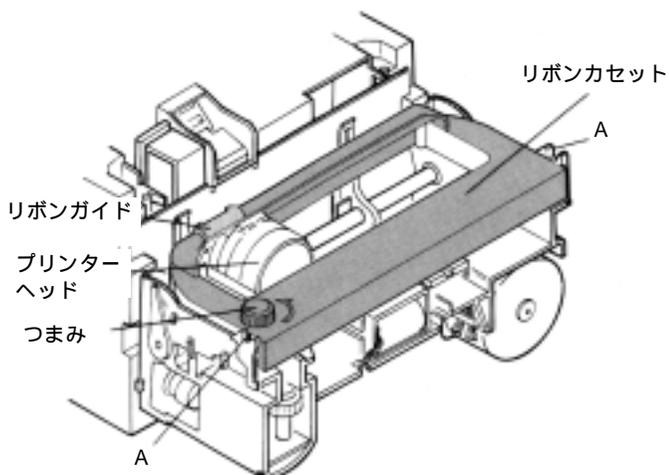
1 上ぶたを開けて、操作部を手前に引きます。



2 電源プラグをコンセントから抜きます。

3 使用済みのリボンカセットを真上に取り出します。

4 プリンターヘッドを左端まで移動します。



5 新しいリボンカセットをセットします。

リボンカセットに付いているリボンガイドを左端まで移動させます。

リボンカセット両側の突起を受け部 A にのせ、リボンガイドをプリンターヘッド先端部に合わせて差し込みます。

セット後、カセット左端のつまみを反時計方向に回して、リボンのたるみをとってください。

—お求めください—

単色黒リボン C-268050 (EX7000 用)

二色リボン C-267650 (EX7100 / 7200 / 7300 用)

リボンカセットの交換が終わりましたら、操作部を元に戻し、上ぶたを閉じます。  
電源プラグをコンセントに差し込みます。

# 日常のお手入れ

日常のお手入れについては、次のことを守ってください。

ケースが汚れたときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。



ベンジン、シンナー(揮発性のもの)などの薬品を使用してふきますと、変形や変色の原因となります。



殺虫剤などのスプレーをかけた場合でも、変形や変色の原因となります。



# 付録

ここでは、「オプションについて」、「製品仕様」の説明をします。

## オプションについて

フルパワーリザーブユニット (EX7200/7300)

お売りの「フルパワーリザーブユニット」をお求めください。

停電時の打刻を2日以内500打刻まで補償いたします。(バッテリー満充電の場合)

親子機能 (EX7200/7300)

接続した各機との間で、時間同期信号の授受ができます。

子時計機能 (EX7200/7300)

本機内部時計がマスタークロック(親時計)からの歩進信号を受信して時計同期します。

マスタークロックからの入力信号はDC3V、6V、12V、24Vのいずれかで、パルス幅は1~3秒が条件となります。

## 製品仕様

仕様電源 : AC100V  $\pm$  10% (50/60Hz)

消費電力 : 待機時 5W 定格 20W

環境条件 : 温度 - 10 ~ 45

湿度 10% ~ 90%RH(結露のないこと)

外形寸法 : 幅 224mm  $\times$  高さ 279mm  $\times$  奥行き 161mm

質量(重量) : 4kg

時計方式 : 水晶発振方式 通電時過差  $\pm$  3 秒以内(25  $\pm$  5 )

## ニカド電池について（フルパワーリザーブユニットをご使用の場合）

バッテリーはリサイクル可能なニカド電池を使用しています。

製品を廃棄する場合はニカド電池を取りはずしてください。また、ニカド電池の取りはずしは販売店あるいは弊社支店・営業所にご相談ください。



Ni-Cd

ご使用済みのニカド電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで販売店またはニカド電池リサイクル協力店にお持ちください。

種 類	ニッケル・カドミウム蓄電池
電 圧	定格電圧 12V 定格 1000mAh
電池タイプ	円筒密閉形



Ni-Cd

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

### 取り扱いと保管

- ・リサイクルするため、火の中に投げ込んだり、水につけないでください。
- ・短絡（ショート）防止のためコードを切ったり、コネクタを取りはずさないでください。
- ・分解はしないでください。
- ・乾電池など他の電池と混ぜないでください。